



〒581-0003 八尾市本町 7-11-18
八尾メディカルアベニュー 2F
TEL 0729-90-5820
FAX 0729-90-5830

菊池内科ホームページ
<http://www.kikuchi-clinic.com/>
<http://www.kikuchi-clinic.com/ez/> (for EZweb)
<http://www.kikuchi-clinic.com/i/> (for i-mode)

1頁：8月の休診のお知らせ
：禁煙補助薬
2頁：血液検査について(4)
：診療日・診療時間について

小泉内閣の支持率の高さには目を見張りますが、それだけ今までの政治が信用されていなかったということなのでしょう。

「聖域なき改革」によって、医療の世界にも影響がありそうです。2年ごとの診療報酬改定も来年度ありますし、老人医療制度の改革等もあわせて行われるとすれば、かなりの変化が起こるかもしれません。患者さんの側の負担も重くなるかもしれませんし、私たち医療を職業としている側にもつらい時代になるのでしょうか。

与党は7月の参議院選挙まではできるだけ内緒にしたいと思いますが、来年4月から制度を変えようとするれば、遅くとも来年1月からの通常国会で審議しなければいけません。そのためにはそろそろ議論が始まるはずで。

気になるのは、財務省が「医療費の総枠管理」を考えているということです。「総枠」すなわち医療費に「上限」を設定するということです。どのような形になるのかわかりませんが、まさか「予算を使い切ったので、あなたの治療はこれでおわりです」などということにならないようにしていただきたいものです。

現在の経済状況を考えれば、誰もが満足できる医療・福祉制度というのは難しいでしょう。しかし、「老人は(皆)金持ちである」とか「医者は(皆)高収入である」というような間違った認識に立って弱者を切り捨てるような「変革」が行われるとしたら「ノー」と言わざるを得ないかもしれません。

首相官邸のホームページ：<http://www.kantei.go.jp/>
(小泉内閣メールマガジンの登録は、6月9日からです)

8月の休診予定 (8月ですよ!)

8月 6日(月)・7日(火) **休診**

8月23日(木)・24日(金) **夕診のみ休診**
(午前診は行います)



理由は、昨年と同じです。(答は、昨年の広報誌7・8・9月号あたりに出ています)

お盆休みくらいしか受診できないという方が、結構おられるため、上記以外は、お盆の間も平常通り診療します。(内視鏡検査も行います)

禁煙補助薬のご紹介

先月号で、タバコの害について書きましたが、禁煙の補助のための薬がありますので、ご紹介します。(偶然ですが、5月31日は「世界禁煙デー」でした。)

禁煙の際につらい症状(イライラなど)、いわゆる禁断症状(正確には、離脱症状)を抑えて禁煙を助ける薬です。日本で入手可能な薬は、下記の2種類です。どちらもニコチンを含んでおり、使用量を徐々に減らしながら、からだを慣れさせるためのものです。(「ニコチン置換療法」といいます。)

ニコレット：ニコチンを含む**ガム**です。通常は3か月程度使用します。

ニコチネル：ニコチンを含む**貼り薬**です。通常は2か月程度使用します。

調剤薬局で購入するためには、**医師の処方箋が必要**ですが、**病気の治療ではないので、健康保険が使えません**。(ニコチン依存症という病気と考えていいと思いますし、肺がんの発生を減らせば、結果的に医療費も減ると思うのですが・・・)

したがって、**自由診療(自費扱い)**となります。

当院での費用(診察・処方箋発行を含む)は下記の通りです。薬代は調剤薬局で支払っていただきます。

高血圧症・糖尿病などの患者さんには、できるだけ禁煙していただきたいので、このような料金設定にしています。(6月1日付けで改定しました)

ニコチン含有薬につきましては、妊娠・授乳中、心筋梗塞・脳血管障害の発症直後、重症の不整脈などの方には、投与禁忌(使用してはいけない)になっていますので、医師と十分にご相談下さい。

自由診療費	当院で慢性疾患で継続して受診中の方	当院に慢性疾患以外で受診したことのある方		自費診療のみの方
		自費診療のみの方	(慢性疾患以外の)保険診療を同時に受けられる時	
2001年6月1日改定				
初回	500円	2000円	1000円	3000円
2回目以降	500円	1000円	500円	2000円

「慢性疾患で継続して受診中」とは、高血圧症・高脂血症・糖尿病・心臓疾患・脳血管障害などの病名がついていて、治療費の中で「特定疾患指導管理料」「自己注射指導管理料」などを算定している(お支払いいただいている)患者さんの場合です。受付でご確認下さい。

「バイアグラ(勃起障害治療薬)」の診療・処方箋発行も扱っております。診療費は、上記と同じです。

血液検査について(4) 補足

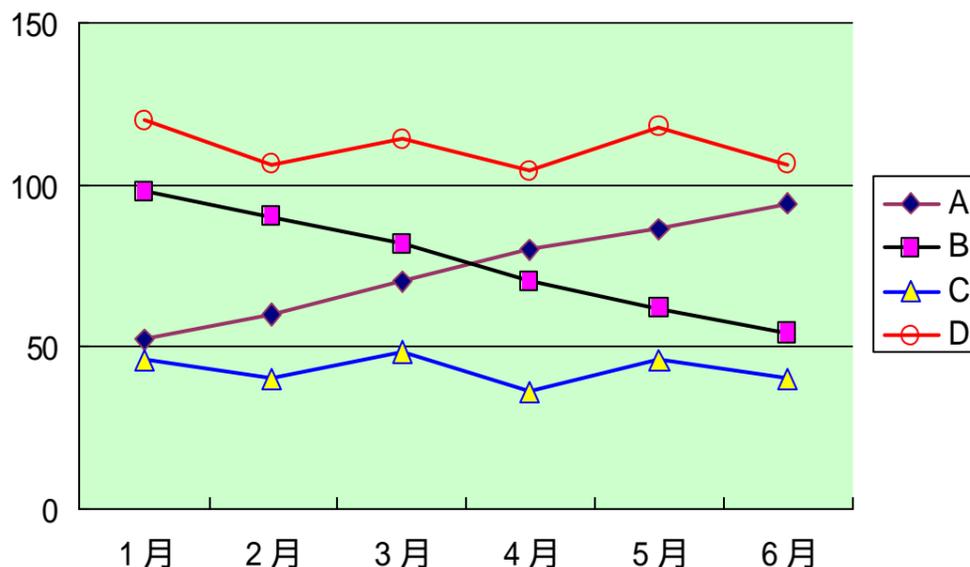
前回まで、簡単ですが血液検査について説明しました。それぞれの検査結果がどうかは、基準値と比べればわかりますが、それをどうやって治療にいかすのかが問題です。一般の方が、誤解しやすい点について、補足します。

1. **いろいろな種類の病気で異常値になる検査項目がある**ことを覚えておいてください。
例) LDH: 肝臓疾患、血液疾患、筋疾患など
2. 検査値が**高いほどいいもの**、**低いほどいいもの**、**高すぎても低すぎてもよくないもの**があることを覚えておいてください。
例) 高いほどいいもの: HDLコレステロール(善玉コレステロール)
低いほどいいもの: 炎症反応・腫瘍マーカー・肝臓の酵素(GPTなど)
「ほどほど」がいいもの: 総コレステロール・白血球・赤血球
検査値の正常範囲は、ほとんどの場合上限と下限の両方が設定されています。しかし、そのような項目でも、肝臓の酵素(GOT・GPT)や腎臓の数値(BUN・クレアチニン)など、できるだけ低い方がいいものがあります。

3. 定期的に検査して、**変化の傾向をつかむことが大事**です。
初回からとんでもなく高い数値であったり、途中で急に大きな変化があった場合は、誰でも気づくと思います。
問題は、少しずつ変化する場合です。後から振り返ってみると、「ああ、あのときからおかしかったのかな」と後悔することがあります。

下のグラフに4種類の線を描きました。50~100が正常範囲と考えてください。

- A: 正常範囲だが、徐々に増えている。
- B: 正常範囲だが、徐々に減っている。
- C: 正常範囲より低いが、上がり下がりを繰り返している。
- D: 正常範囲より高いが、上がり下がりを繰り返している。



単純に考えると、AとBは正常範囲なので大丈夫で、CとDがおかしいということになります。しかし、本当に問題なのは、**どんどん増え続けているAと減り続けているB**であることが多いのです。逆に、CとDは異常ながらも平均すると大きな変化がなく、あまり問題がないことが多いのです。

4. **検査(や治療)の目的が何かをはっきりさせること**
今まで何度も書いていますが、たとえば、慢性肝炎や肝硬変の場合、「肝臓がん」になりにくくするために治療をし、万が一「がん」になっても早期に発見して早期に治療を行うために検査をするということです。
また、糖尿病の場合、血糖値を下げるのが目標ですが、それが何のためかという、眼底出血をして失明したり、慢性腎不全になって血液透析を受けるようになったり、足の血流が悪くなって切断するような合併症にならないためです。

医者も患者さんも、目先の検査結果に一喜一憂することが多く、十年先・二十年先の合併症まで頭に入れて、予防・治療を行うことは容易ではありません。

5. **血液検査だけに頼らないこと**
困るのは、「胃カメラを受けるのはいやだが、胃癌かどうか血液検査をして欲しい。」というような依頼です。
腫瘍マーカーという血液検査があります。たとえば、胃癌のときには、「CEA」という腫瘍マーカーが増えやすいのですが、患者さんだけでなく、医者でも誤解している方があります。
異常に高い数値がでれば、「がん」が非常に疑わしいということになるのですが、**問題は検査値が正常の場合です。「がん」でも早期の場合は、数値が正常のことが多いですし、進行した「がん」でも正常値が出る場合が少なからずあります。**
つまり、**診断の補助にはなるが、否定する根拠にはしにくい**のです。

大きな病院で肝臓を診てもらっていたら、担当医は心臓が専門だった、というようなことはよくあることです。もちろん、専門外でもきちんと診てくれていれば問題はないのですが・・・**どんな医者が主治医になるかで、運命が変わる場合もあります。**

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9~12							×
午後4~7			×			×	×

木曜日が休診の診療所が多いせいでしょうか、水曜日の夕方に来られたり電話をくださる患者さんが結構あります。
開院当初より、上記の診療時間は変更しておりませんので、ご確認をお願いいたします。(診察券の裏面にも記載しています)
なお、来院が診療時間を少し過ぎる程度でしたら、診察させていただきますが、その時は必ず診療時間内にお電話を頂きますようお願いいたします。